

9. 体育 · 保健体育



教材教具名	オセロゲーム	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・一定時間運動を続けることができる。		
材 料	画用紙、ラミネートシート、四角形、星形		
使用方法	・2チーム（青チーム・赤チーム）に分かれる。 ・体育館のフロアにカードを置く。 ・一定時間、自チームの色になるように相手チームのカードをひっくり返していく。 ・一定時間終了時に枚数の多いチームの勝ち。		
工 夫 点	・カードを置く範囲を広げることで運動量を増やすことができるようにした。 ・色覚異常の児童生徒が判別しやすい色のカードにした。 ・色で判別が難しい場合、形で判別できるようにカードに四角形や星型を取り付けた。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	周回数確認用たすき	教科・領域	体育・保健体育
  			
ね ら い	・ 周回数に見通しをもって活動に取り組むができる。		
材 料	ロープ、洗濯ばさみ		
使用方法	・ たすきを首から掛け、片腕を通す。 ・ たすきの長さを調整する。たすきの端っこはズボンのゴムで挟み、ずれないようにする。 ・ 1周走り終わるごとに洗濯ばさみを外す。		
工 夫 点	・ 駅伝用のたすきのように長さ調整ができるようにした。 ・ たすきにロープを使用することで、洗濯ばさみをしっかりと挟むことができ、走っている途中に洗濯ばさみが落ちにくいようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	カラーコーン用の表示板	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・ 文字やイラストを表示し、視覚的に分かりやすくすることができる。		
材 料	硬質カードケース、ラミネートフィルム、面ファスナー、カラーコーン		
使用方法	・ 硬質カードケースに視覚支援用の表示を入れる。 ・ ラミネートフィルムをカラーコーンに合うように丸めて、面ファスナーをくっつける。 ・ 硬質カードケースとラミネートフィルムを面ファスナーでくっつける。		
工 夫 点	・ 視覚支援用の表示を硬質カードリングに入れることで、屋外で使用しても風で飛ばないようにした。 ・ 使用後に収納しやすいように作製した。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	活動時間の表示カード	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・時間に見通しをもって活動に取り組むことができる。 ・残り時間を意識して走ることができる。		
材 料	数字カード、カードリング		
使用方法	・持久走に取り組む時間を示す。 ・走り始めてから1分経過するごとにカードをめくり、数字を減らしていく。		
工 夫 点	・走っている生徒が注視しやすいように教師が持って残り時間を伝えられるようにした。 ・活動時間を数字で表すとともに量も表示したことで、時間が減っていることを視覚的に分かりやすくした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	活動時間の表示板	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・時間に見通しをもって活動に取り組むことができる。 ・残り時間を意識して走ることができる。		
材 料	数字カード、ワイヤーネット、ワイヤーボックス、カードリング、リング、カラーコーン		
使用方法	・持久走に取り組む時間を示す。 ・走り始めてから1分経過するごとにカードをめくり、数字を減らしていく。		
工 夫 点	・走っている生徒が注視しやすいように教師が持って残り時間を伝えられるようにした。 ・カラーコーンに設置できるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	クッションボール	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・ボールコントロールするために力の調整をすることができる。		
材 料	布、ストロー、ビーズ		
使用方法	・サッカーボールの代わりに使用する。 ・クッションボールを用いてドリブルをする。		
エ 夫 点	・体の近くでボールコントロールしてドリブルする体験をしやすくした。 ・サッカーボールを使用するまでの段階的な指導の過程で使用できるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	得点板	教科・領域	体育・保健体育
 			
ね ら い	・生徒が得点板を操作することで、試合のルールを理解しながら観戦することができる。		
材 料	得点カード（赤、青）、フォトアルバム、プラスチックケース		
使用方法	・プラスチックケースの枠の中に得点板を立てる。 ・試合を見ている生徒が得点を表示する。		
工 夫 点	・得点板の色をチームカラーにすることで、どちらのチームに何点入っているのかを分かりやすくした。 ・使用後は、フォトブックを閉じてプラスチックケースに収納することで、持ち運びしやすくした。		

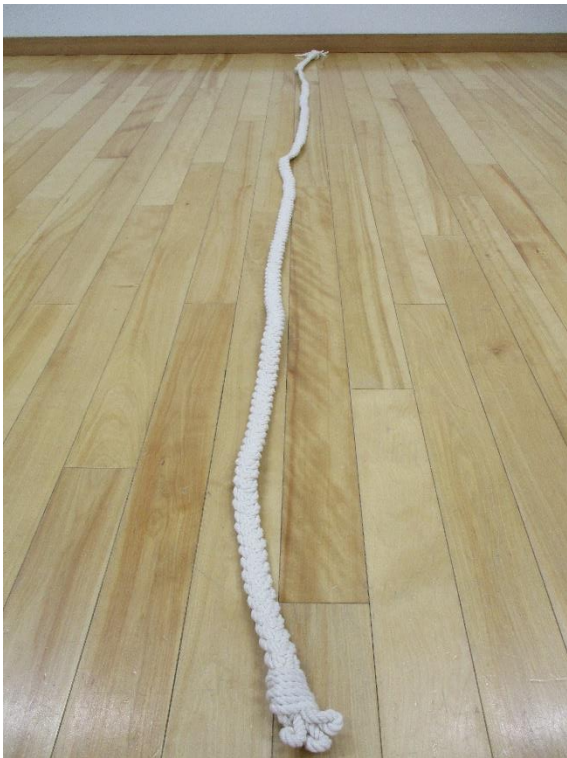
愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ボールを当てて鬼を倒せ！！	教科・領域	体育・保健体育
 			
ね ら い	・ 的に向かってボールを投げたり、蹴ったりすることができる。		
材 料	塩ビ管、布、ベニヤ板、金属、鬼カード、ひも、洗濯ばさみ		
使用方法	・ 的に鬼カードを付ける。 ・ 的に向けてボールを投げたり、蹴ったりする。 ・ ボールが的に当たると的が倒れる。		
工 夫 点	・ 的にボールが当たると倒れるようにしたことで、当たったことを分かりやすくした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	バトンボール	教科・領域	体育・保健体育
 			
ね ら い	・投球動作の発達段階を上げることができる。 ・片手で投球することができる。		
材 料	園芸用ロープ、バトン、穴あきボール、カラビナ		
使用方法	・園芸用ロープの片方を体育館の2階通路の柵に結び付け、もう片方を体育館のフロアに置いたボールかごに取り付ける。 ・バトンに取り付けられているボールを片手で握って投球する。 ・足を踏み出して投げることを目標にする場合は、足型を使用するとよい。		
工夫点	・園芸用ロープを体育館の2階通路と1階フロアに結び付けることで、投射角度を意識できるようにした。 ・園芸用ロープを使用したことで、投球後に自動的にバトンが下がってくるようにした。 ・バトンにボールを取り付けて握れるようにすることで、実際の片手投げに近い動きができるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ロープ平均台	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・足の裏の中心でロープを踏んでいることを意識しながら平均台の技に取り組むことができる。		
材 料	ロープ		
使用方法	・ロープ平均台を置き、両端を養生テープで固定する。 ・ロープ平均台の上を歩くなどの技に取り組む。		
エ 夫 点	・ロープは分厚さがあるため、踏んでいる感覚を分かりやすくした。 ・転落の心配がないため、安全に平均台運動に取り組むことができるようにした。		

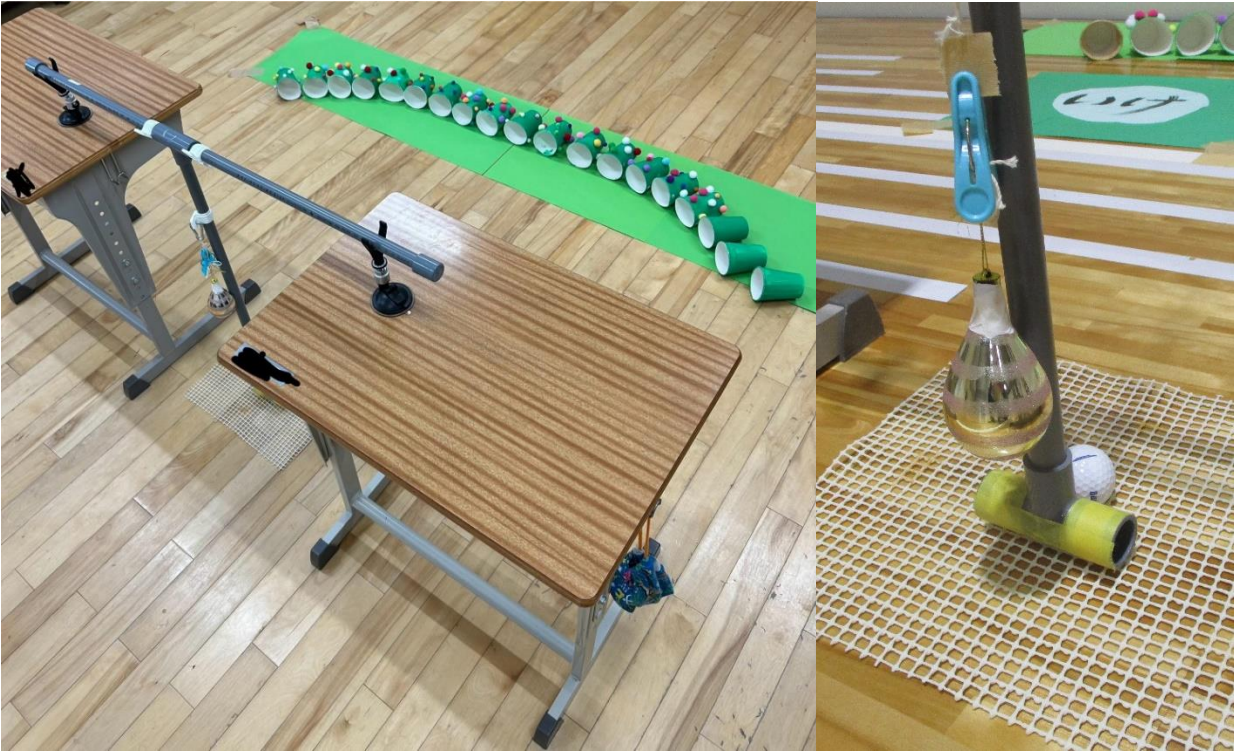
愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	スタンドティー	教科・領域	体育・保健体育
 			
ね ら い	・ 力強いバッティングをすることができる。		
材 料	ベニヤ板、塩ビ管、スポンジカバー、金具、ネジ		
使用方法	・ スタンドティーを立ててボールを置く。 ・ バッティングをする。		
エ 夫 点	・ バッティングのときにスタンド部分を打っても、塩ビ管の部分が倒れるようにしたことで、ベニヤ板部分から倒れないようにした。 ・ スタンド部分を倒すことで収納スペースを少なくした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	体重測定棒グラフ	教科・領域	体育・保健体育
			
ね ら い	・ 自分で体重の増減が分かるようになり、自分の体（体重）に興味をもつことができる。		
材 料	画用紙、厚紙		
使用方法	・ 体重測定し、記入用紙に記入する。 ・ 教師が昨日の体重を「きのう」のところに棒グラフを完成させる。 ・ 生徒と一緒に記録用紙の数字と、グラフの数字が重なるところまで、シートを引っ張り、棒グラフを完成させる。 ・ 「きのう」と「きょう」の増減を自分で確認する。 ・ 増減に合わせて自分で気を付けることを決め、明日への意気込みを語って終了。		
エ 夫 点	・ 体重の数字や折れ線グラフを記入しても、増減が分からなかったため、棒グラフの教材を作成した。 ・ 肥満傾向の子供たち全員に使えるよう、目盛を個人用にした。 ・ 体重を減らす意欲をもってもらうため、生活で気を付けることの具体的な項目をあげ、増減に合わせて選べるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	だれでもゴルフっ子さん	教科・領域	保健体育
			
ね ら い	・ 道具を操作してボールを打つことができる。 ・ ねらったところにボールを転がすことができる。 ・ 見通しをもって活動に取り組むことができる。		
材 料	塩ビパイプ、タコ糸、滑り止めシート、ロッドホルダー、オーナメント、色付き画用紙、紙コップ		
使用方法	・ パターンⅠ … 狙いを定めて持ち手を引っ張る。 ・ パターンⅡ … 狙いを定めて持ち手を引っ張って離す。 ・ パターンⅢ … 狙いを定めてゴルフクラブを模した塩ビパイプを引っ張って離す。 ・ パターンⅣ … 狙いを定めてゴルフクラブを模した塩ビパイプを操作してボールを打つ。		
工夫点	・ 一つの教材で生徒の実態に合わせた複数の使い方ができるようにした。 ・ 誰でも簡単に短時間で組み立てることができるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	移動式のかご・玉入れの玉	教科・領域	保健体育
 			
ね ら い	・ゴールをねらってボールを投げることができる。		
材 料	木材 フープ、ロープ、チャック付き袋、シュレッダーごみ		
使用方法	・バスケットボールなど硬いボールは使用不可。 ・児童生徒の実態に応じて距離や投げる物の大きさを調整する。		
エ 夫 点	・各部位ごとの分解できるようにした。ネットはフープの大きさに合わせて手作りした。 ・既製品のバスケットボール用のゴールでは、位置が高く、目視しづらいため、生徒の目線の高さに合わせるようにした。 ・玉入れの玉は手軽に安価にいろいろなサイズが大量にみんなで楽しく作れるようにした。 ・玉入れの玉には、シュレッダーごみを入れ、児童生徒自身で作れるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校